

今後のＰＩに関する主な意見

全体ＰＩについて

(全体ＰＩのあり方に関わる意見)

- ・ ＰＩ会議で結論を出せるものについては出していくべき。
- ・ 仮に外環ができる場合、事業中や事業後もＰＩは継続し、約束事などが守られているかのチェックをする場を設けるべき。

(議題に関わる意見)

- ・ 外環により地域のまちづくりに影響が出るため、今は都市計画変更案への意見を出し、その後、変更案で残る課題を整理し、その課題に対してどのようにＰＩを進めていくかを整理すべき。
- ・ 地域では外環の必要性にまだ納得ができておらず、引き続き必要性の議論をするべき。
- ・ 財政面など全体に関わるやり残したことは、ＰＩ会議の枠組みの中で関心のある人を集めて行うべき。
- ・ 外環ノ２については、別途議論する場を設けることを提案する。
- ・ 外環ノ２について、今ＰＩ会議で議論すること自体に反対である。
- ・ 外環ノ２についていずれＰＩ会議で議論しなければならない。
- ・ インターチェンジの問題、東名以南等についても早急に話し合うべき。

地域ＰＩについて

(地域ＰＩのあり方に関わる意見)

- ・ 意見を聴く会では意見交換をただけに終わっているようであり、今後の地域ＰＩではできるだけ具体的な議論ができる場にするよう工夫すべきである。
- ・ 地域ＰＩであっても理念である透明性、客観性、公正さは守るべきである。
- ・ 地域ＰＩにおける各区市の役割や位置づけを住民にもわかるよう明確にしてほしい。
- ・ 住民から意見を聴くだけでなく、その意見の反映や評価をどうするのか。
- ・ 外環への関心事項を整理し、関心のあるテーマごとに分科会をやるのがいいのではないか。
- ・ 自治会との話し合いについても、オープンにするべき。
- ・ 地域住民が多く参加できるように、今後の地域ＰＩは土日開催にしてほしい。

(議題に関わる意見)

- ・ 都市計画手続き中に、何を誰と議論し、なぜ今やるのかの理由を市民に明確に示すべき。
- ・ 三日月地域への影響の解決策について何度も要望を出しており、国や都から具体的な方策を出すべき。